

工学部

I	教育水準	教育 24-2
II	質の向上度	教育 24-4

I 教育水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

1. 教育の実施体制

期待される水準にある

[判断理由]

「基本的組織の編成」については、当該学部は、六つの大学科8コースで構成され、学生定員充足率はすべて良好であり、当該学部の教育目標を達成するため、各専門分野の特色・内容に合わせた教育を行うなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制」については、平成17年度に教育・研究活動及び点検・評価を支援する、企画支援室を設置し、ファカルティ・ディベロップメント（FD）・教育改善の計画・情報伝達の強化を行うとともに、授業アンケートの実施、工学講義賞の制定等、教育内容、教育方法の改善を実施するなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、工学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育の実施体制は、工学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

2. 教育内容

期待される水準にある

[判断理由]

「教育課程の編成」については、全学教育科目と専攻教育科目が楔形に配置され、4年一貫教育が実施されていること、特に、工学専門教育に加えて、創成型科目、コミュニケーション系科目、工学倫理系科目、工学マネジメント科目等を開講し、複眼的・広視野の技術者育成を目指すカリキュラムを実施するなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「学生や社会からの要請への対応」については、同学部では、各分野の専門知識だけでなく、技術者としての倫理観、社会に対する認識と理解をバランスよく習得させるため、コミュニケーション科目、工学倫理科目、工学マネジメント科目等を導入し、多様なニーズに対応した教育課程を構築するなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、工学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育内容

は、工学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

3. 教育方法

期待される水準にある

[判断理由]

「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」については、全学教育科目及び専攻教育科目において、教育目的に沿った授業形態・学習指導法の工夫に加えて、少人数制セミナー、演習、実験、実習及び専攻教育科目における社会体験型科目、インターンシップ、対話・討論型科目、フィールドワーク等も実施するなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「主体的な学習を促す取組」については、多くの授業でレポート作成が課せられるとともに、オフィスアワー等による学習相談の対応、指導教員による履修指導等を実施するなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、工学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育方法は、工学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

4. 学業の成果

期待される水準にある

[判断理由]

「学生が身に付けた学力や資質・能力」については、留年率、休学率が極めて低く、各学年時において学生は学力を適切に身に付けていると推察される。また、85%の学生が4年間で卒業しており、6年以上の学生は5%に満たないなどの優れた成果があることから、期待される水準を上回ると判断される。

「学業の成果に関する学生の評価」については、全専攻教育科目で年2回の授業アンケートを実施し、その結果は授業の理解度で「そう思う」が60%前後、新しい内容を学べたかで「そう思う」が80%程度にあるなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、工学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、学業の成果は、工学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

5. 進路・就職の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「卒業（修了）後の進路の状況」については、80%以上の学生が大学院に進学し、15%の学生が就職している。進学先・就職先の実績からみて、同学部の教育目的に沿った分野へ進むなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

「関係者からの評価」については、卒業・修了生及び就職先の関係者に対して行ったアンケート調査において、達成度評価が高いこと、特に、「基礎工学の理解と解析能力」「継続教育と向上心」の就職先の評価が高いなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、工学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、進路・就職の状況は、工学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

II 質の向上度

1. 質の向上度

大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している

当該組織から示された事例は4件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」と判断された。